

年頭ごあいさつ

“夢の広がる舞鶴”を実現しよう！



舞鶴商工会議所
会 頭 廣 瀬 久 哲

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平成26年の新春をご家族そろってお健やかに迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

このたび、皆様のご信任をいただき、舞鶴商工会議所の会頭に就任させていただくことになりました。

地域経済や中小企業にとっては厳しい経済環境が続く中で、地域最大の経済団体である商工会議所に課せられた使命は大きく、まさにその責務の重さを痛感している次第であります。

新しい年を迎えるにあたり、私は、企業、地域、さらには広く社会全体から「より多くの支持と信頼がいただける商工会議所」を目指して、役員・議員・会員の皆さんと一体となって、全力で取り組んでいく決意を新たにしています。

“夢の広がる舞鶴に（提言）”の実現に向かって、さあ！ スタートです。

平成26年度中には、舞鶴若狭自動車道や京都縦貫道が全線開通し、京阪神・中京・北陸などの経済圏と結ぶ高速道路網が完成します。

また、京都舞鶴港には、大型クルーズ船が次々と入港することが決まっており、さらには、国際フェリー定期航路の開設に向けて積極的な取り組みがなされています。

このように、京都府北部に「人・もの」の流れが飛躍的に増えることが見込まれることから、私たちのまちに“新しい時代”が到来します。

そのとき、舞鶴の地が単なる通過点にならないように、私たち商工会議所が率先して地域のリーダー役となって商店主、市民をも巻き込んで、儲かる商売に繋がるための“知恵と工夫”を絞り出していかねばなりません。

この大きなビジネスチャンスをしっかりと成

果に繋げることで、「舞鶴なら投資ができる、舞鶴なら新しく会社を始められる、舞鶴なら仕事が続けられる」、そんな舞鶴にしていかなければなりません。

将来に「夢」を持つことはとても大切なことです。舞鶴商工会議所は、“夢の広がる舞鶴に（提言）”という素晴らしい「夢」を持ちました。この「夢」を心に持ち、舞鶴の更なる飛躍に向けて“オール舞鶴”で前進あるのみです。

商工会議所の強みは、なんといってもビジネス現場に最も近いことであり、今、企業が何を考え、やっているかを常に把握し、企業のニーズを明らかに出来るのは商工会議所であると自負しています。しかも、地域における様々な関係者とニュートラルな立場で接することができ、かつ広い視野で連携を推進できるのは商工会議所を他においてありません。

商工会議所の役割は、やる気と能力を持ち、創意工夫をしながら努力している多くの中小企業がその頑張りに応じて報われる「ビジネス環境」を行政や他の経済団体と連携しながら整備することです。

経済だけでなく地域の伝統・文化創造の担い手でもある私たち中小企業を元気にすることで、舞鶴全体を活性化することが出来ると考えています。

いずれにしても、商工会議所のパワーアップをはからなければ、発言するにしても行動するにしても実効性はありません。

そのために、当所の運営にあたっては、パワーの大きさを示す「会員数」の増強と、商工会議所活動の原点であり実行部隊である「部会」の活発化を目指します。

結びにあたり、皆様方の益々のご健勝・ご多幸を心からお祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。